



旭地域義務教育学校 開校準備委員会だより

第2号

令和3年10月発行
旭地域義務教育学校開校準備委員会

校名案決定!!

あさひがくえん

美咲町立 旭 学 園

7月12日から1ヶ月間、旭地域義務教育学校の校名を募集したところ、155件のご応募をいただき、ありがとうございました。8月27日開催の第3回開校準備委員会で審議した結果、裏面のとおり4つの校名候補が選考されました。さらに9月22日の町教育委員会定例会で、「シンプルで分かりやすい。」「義務教育学校の名称として相応しく親しみやすい。」などの理由から、校名案は『美咲町立旭学園』に決定しました。この後は、町議会に条例改正案を提案し、可決されると正式決定になります。

第3回 開校準備委員会

日時：令和3年8月27日（金）
18:31~20:39
場所：旭町民センター

第3回開校準備委員会での審議内容

学年段階の区切り、スクールデザイン、キャリア教育全体計画について提案があり、委員からは「子どもたちのために地域や家庭も協力する」などの意見が出され、提案が承認されました。
校名候補の選考については、分かりやすく、地域に親しまれる学校に相応しいという視点で議論し、4つの候補を選考しました。
校舎の平面プランについては、「子どもたちにとって良い環境を」などの意見が出され、提案が了承されました。

学年段階の区切り決定

	基礎・基本の習得期 前期ステージ				学びの活用・充実期 中期ステージ			進路実現期 後期ステージ	
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生
	学級担任制				一部教科担任制			教科担任制	
保育園	前期課程 6年間 (小学校段階に相当)				後期課程 3年間 (中学校段階に相当)				

義務教育学校では1~9年生までが在籍します。一人の校長のもと、一つの教職員組織により、9年間の一貫した教育活動を行います。この9年間を子どもたちの発達段階に応じて前期・中期・後期の三つのステージに分ける4・3・2年制とすることが決定しました。これにより、従来の6・3年制よりも緩やかにステップアップすることができ、学びの連続性が図れ、高い教育効果が期待できます。

スクールデザイン決定

- > 学校教育目標
『夢をもち 未来をひらく 旭っ子』
- > 目指す学校像

- 【練磨】 児童生徒の学びを磨き、経験を積み重ね確かな資質・能力を育成する学校
- 【創造】 地域・保護者と共に児童生徒とふるさと旭の未来を創造し、活性化に参画する学校
- 【敬愛】 一人一人に居場所があり、互いを敬い高め合うことで得られる喜びを提供できる学校

旭小学校・旭中学校共通の校訓である練磨・創造・敬愛のもと、目指す学校像や前期・中期・後期の三つのステージごとに育てたい子ども像が決定しました。

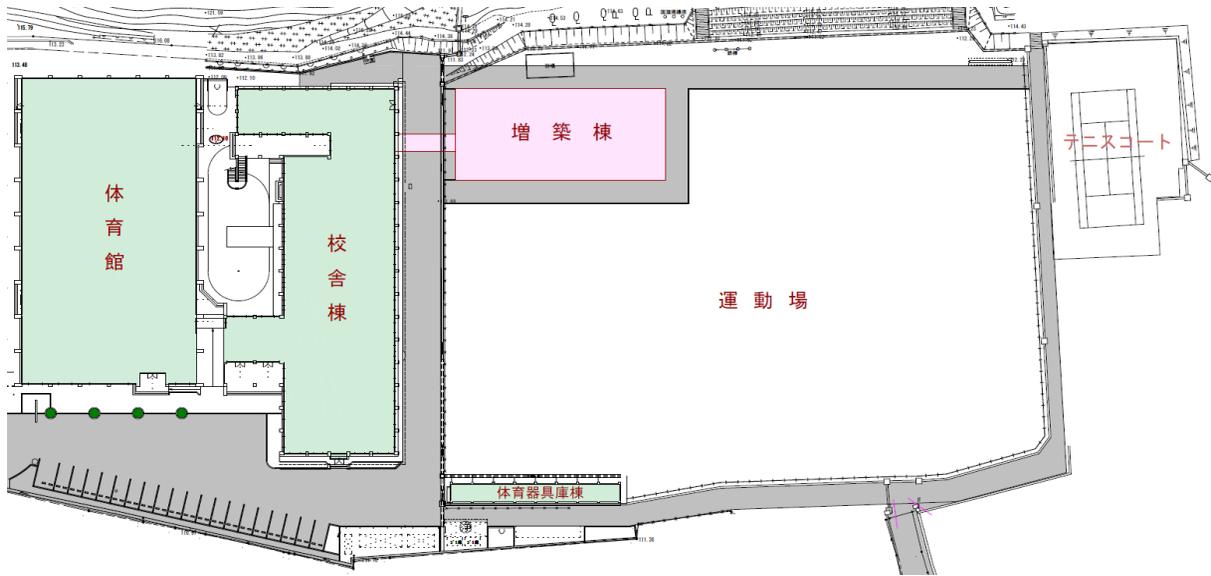
キャリア教育全体計画決定

キャリア教育とは、子どもたちの社会的・職業的な自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる教育です。
美咲町立旭学園（仮称）では、総合的な学習の時間と英語教育を軸にキャリア教育を充実させます。このキャリア教育全体計画は旭学園（仮称）での教育を進める大切な計画です。
「練磨・創造・敬愛」の三つの枠組みに従って下の表にある能力や態度を育てます。

練磨	自己理解・自己管理能力（自立） 課題対応能力（探究）
創造	キャリアプランニング能力（創造・貢献）
敬愛	人間関係形成・社会形成能力（協働・共生）

校舎の平面プラン決定

旭中学校グラウンド北側に校舎を増築し、1階に図書室、給食調理室が移り、新たに地域開放室を設けます。2階には8・9年生の教室、理科室、多目的室等が入る予定です。現在の校舎棟1階に1～4年生の教室を設け、職員室、保健室は広がります。2階には5～7年生の教室と、新たに英語教室、会議室を設けます。



<校舎配置図>

開校準備委員会での校名選考結果

旭地域義務教育学校 校名候補選考結果

美咲町旭地域義務教育学校開校準備委員会

順位	校名候補 (選考意見)	
1	校名候補	美咲町立 旭中学校 (あさひ小中学校)
	応募者の校名に込めた想い	<ul style="list-style-type: none"> ○今のままでよいと思う。 ○今までどおりの名前の方が親しみやすい。 ○旭という今までの学校名を引き継いでいきたい。 ○旭の名前を残したい。 ○旭地域だから旭が付いてこそいい。 ○これまでの学校の名前に近く覚えやすい。 ○シンプル・分かりやすい・言いやすい。 ○旭小学校と旭中学校が一緒になるから。 ○「学園」や「学校」は短くてよいが、「小中学校」の方がしっくりくる。 ○小学校と中学校を合わせたら面白いと思った。
	選考意見	<ul style="list-style-type: none"> ○シンプルで分かりやすい。 ○奇抜なものより単純なほうがよい。 ○中学生からの応募が多く、中学生の思いが伝わってくる。 ○「学園」よりも「小中学校」という名称の方が義務教育学校を連想しやすい。
2	校名候補	美咲町立 旭学園 (あさひ学園)
	応募者の校名に込めた想い	<ul style="list-style-type: none"> ○旭という名前を残したい。 ○旭という文字がなくなってしまうと寂しい。 ○旭町が故郷であり、その名前を入れたい。 ○多くの人の心に生きている旭の文字をこれからも使いたい。 ○旭地域で生まれ育ったことを意識して過ごしてほしい。 ○旭を強調し、響きを大切にしたい。 ○そのままでもよい名前だから。 ○言いやすい、書きやすい、覚えやすい。 ○シンプルで親しみがある。 ○一番しっくりくる。 ○「学園」はかっこいいから。 ○旭の漢字の意味として、日が昇るや明らかななどの明るいイメージがあり未来を見るよい名前。 ○「義務教育学校」よりも「学園」の方が馴染みやすそう。 ○学園は小中が一緒になった新しい学校というイメージ。
	選考意見	<ul style="list-style-type: none"> ○「旭学園 (仮称)」という名称が浸透しているため、保護者や地域住民からの支持率が高い。 ○小学生・中学生からの応募が多く、児童生徒の意見をとり入れたい。 ○義務教育学校になるのだから、「小中学校」というより「学園」の方がよい。 ○応募件数が圧倒的に多く、シンプルでよい。 ○「学園」は、私立のイメージがある。

校名候補	美咲町立 旭桜学園 (旭さくら学園・あさひ桜学園)
3	<p>応募者の校名に込めた想い</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旭といえば桜だから。 ○桜で有名な三休公園のそばにあり、旭のイメージとも合致する。 ○今では桜の名所として県内はもちろん県外にも認知されている。 ○桜の下ですくすくたくましく育てほしい。 ○卒業しても旭地域のことを忘れずに桜の下に戻ってきてほしい。 ○旭といえば桜と湖、ダム沿いや三休公園の桜は子どもたちが大きくなるのを見守り、やがて町を離れても地域を思い出すシンボルになる。 ○旭小学校と旭中学校の旭と町木であり旭地域を代表する桜の組み合わせにより、教育が旭地域で咲き誇るようお願いを込めた。 ○旭には三休公園があって桜がきれいで、学校の入学式といえば桜だから。 ○桜のように美しい人になってもらいたい、元気な学校であってほしい。 ○桜を見るときれいだし、元気が出る。 ○旭の名前と素晴らしい桜を校名に入れたかった。 ○旭という地域名は子どもたちにも受け継いでいってほしい。 ○大きくなって胸を張って学校名をいえるような名前。 ○「学園」はかっこいい名前。 <p>選考意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旭地域は桜が有名で、きれいな桜の色が連想され、ビジュアルに訴えるものがある。 ○漢字で旭桜と書くと「きょくおう」とも読める。県内には岡山市立旭操中学校・旭東中学校等がある。 ○ソメイヨシノは寿命が50年程度であり、桜にこだわる必要はない。
校名候補	美咲町立 旭未来学園 (旭みらい学園・あさひ未来学園)
4	<p>応募者の校名に込めた想い</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旭地域の未来のために。 ○学校を核にみんながまとまり、未来を担う子どもたちが元気に育っていくように。 ○この学園を卒業した生徒が、未来に向かって歩いていくという想い。 ○ずっと未来へ続く学校になるように願いを込めた。 ○この学園が未来に受け継がれていくという想い。 <p>選考意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「未来」という名称が義務教育学校という新しい学校をイメージさせる。
総括意見	
<p>令和5年4月に開校を予定している旭地域義務教育学校の校名について、応募用紙及び電子申請システムにより令和3年7月12日から8月11日の1カ月間募集を行い、合計155件の応募があった。</p> <p>様々なアイデアを凝らした校名が応募され、それぞれの応募者の想いが伝わってきた。校種に係る校名表記については、「美咲町立〇〇学園」が圧倒的に多く、続いて「美咲町立〇〇小中学校」で、「美咲町立義務教育学校 〇〇〇〇」という表記は名称が長くなるためか予想に反して多くはなかった。校名としては、「旭学園」「あさひ学園」が最も多く、「旭小中学校」が続いた。また、旭地域の「旭」ともう一つの言葉を組み合わせた「旭桜学園」「旭さくら学園」や「旭未来学園」「旭みらい学園」なども見られた。</p> <p>ほとんどの校名に合併前旧町の名称である「旭」あるいは「あさひ」の文字が使われており、この点について議論の必要はなく、分かりやすく、地域に親しまれる義務教育学校に相応しいという視点で、応募者の校名に込めた想い等を参考にしながら議論を行った。</p> <p>その結果、旭地域義務教育学校開校準備委員会としては、上記のとおり4校名候補を選考した。</p>	

美咲町旭地域義務教育学校開校準備委員会 事務局
〒709-3717 岡山県久米郡美咲町原田1735
美咲町教育委員会 教育総務課
TEL 0868-66-2873 FAX 0868-66-3730



開校準備委員会のHP